

清色地区コミ協だより

清色川

平成26年10月号

清色地区の合言葉

「安心・安全で潤いと活力に満ちた共生・協働の町づくり」

発行：清色地区コミュニティ協議会
清色地区コミュニティ協議会長
清色地区コミュニティ主事
清色地区コミュニティ協議会職員

TEL 44-4222

坂口 睦徳

春田 明美

高山 美恵



研修視察に行ってきました

8/17（日）自治会長さんを対象とした視察研修を行い、お忙しい中26名の方々が参加してくださいました。

今年度は、川内原子力発電所と避難所（南さつま市）までの経路・施設の確認です。



研修後に参加された方へ避難ルート・施設等の問題点や今後の課題・要望を伺いました。

・一時間半ほどで行けることは分かったが、事故が発生したらかなり時間がかかると思う。各関係機関との連携で道路案内など具体的な計画が必要では。

・地の利がまったくないのでルートを覚えられなかった。個人で再度行く必要がある。

・場所としては遠いように感じた。

・体育館が避難所なので夏場と冬場の気温対策が必要。

・自治会や地域の方々を含めて避難訓練をすべき。

川へ団子を投入しました

8/21（木）子どもたちの下校時に合わせて5つの橋（清色橋・船瀬橋・須ノ場橋・日ノ丸橋・

山河橋）へEM団子3000個を投入しました。



ありがとうございます

清色ボランティアグループの方より雑巾をいただきました。ありがとうございます。大切に使用させていただきます。

そば植え体験活動を行いました

9/1（月）始業式、入来小学校児童3～6年生と一緒にそば植え体験を行いました。今年度も東郷さんの畑をお借りしてたくさんの種を蒔きました。



たくさんの種を蒔いた後は、優しく土をかぶせます。3か月程で収穫となります。なお、このそば粉は、12/13（土）に予定されている世代間交流事業で使用します。